



恋愛詩集2



さつき

玩

貴方の頬に触れて
抱き締めて貰ったけれど
貴方の心はここにはない

二人で肌を重ねても
貴方のぬくもりが伝わるだけで
それ以上でもそれ以下でもない

それならいっそ
貴方の玩具になりましょう
何もかも捨てて

私の思いも
いとおしげに見つめる視線も捨てて
貴方の玩具になりましょう

そうしたら
貴方から愛されなくても
きっと平気だろうから

そうしたら
貴方が私を見つめなくても
きっと平気だろうから

玩具は玩具として
ただそこにあればいい
要らなくなったらそこへ捨てていけばいい

傍に置いてください
貴方の玩具として
貴方の暇を潰す玩具として

盗る

盗ってしまいたい心がある

盗ってはいけない心がある

盗ってしまいたい男

盗ってはいけない男

相反する感情を

必死に抑え付けて

道化の仮面で傍らに居る

切な声で呼ばないで下さい

私の名を

切な声で求めないで下さい

私の軀を

切な声で囁かないで下さい

「愛している」と

あなたに囚われてしまうから

柔らかな声で呼んで下さい

私の名を

柔らかな声で求めて下さい

私の軀を

柔らかな声で囁いて下さい

「愛している」と

あなたに囚われていたいから

相反する感情を

道化の仮面で隠し通して

今日もまた傍らに立つ

盗りたいのに盗れないのなら

せめて傍らに

Eat Me

食べて
食べて
私を食べて

確かにもう青い果実じゃない
あの頃の甘酸っぱい香りはもう出ない

でもね
甘い香りは届いてる？
木から落ちる直前
食べて欲しくて
私達は本当に甘くなる

触れてご覧
ほら柔らかいでしょう？

もいでご覧
ほらしっくりと手に馴染むでしょう？

たとえ何処を齧っても
たっぷりとした果汁をあげる
貴方のおなかが満足するだけ

だから

食べて
食べて
私を食べて

決して損はさせないから……ね？

言葉の鎖

何故

あなたは

私を抱くの？

何故

あなたは

私の耳元で

「愛している」

そう囁くの？

何故

あなたは

私に

「愛している」

そう言わせるの？

耳にした途端

口に出した途端

心はあなたに囚われる

言葉に囚われて

あなたに酔って

目覚めれば

いつも一人

あなたの傍で

私の寝息が聞こえるのは

一体いつなのだろう

そして今日もまた

あなたの言葉に囚われる